



登山の注意

船形連峰は、山域が広く登山に長時間を要するコースが多いため、安全快適な登山を楽しむためには、しっかりとした計画と装備、慎重な行動が必要です。

登山に当たっては特につぎの点に注意してください。

- 自分の体力、技術に応じた余裕のある計画を立てましょう。
- 装備は出発前によく点検しましょう。余裕のある装備に心掛け、食糧、燃料、特に着替えや雨具を必ず用意しましょう。
- 出発は早朝、到着は日没3時間前に、を心がけましょう。
- 登山中に体の具合が悪くなったら無理をせずに引き返しましょう。
- コース以外は通らないこと、特に積雪期はなだれ、崩落に注意しましょう。
- 県立自然公園内での薪採取・焚き火は禁止されているので、山小屋泊テント泊を問わずコンロ・燃料を携帯すること。
- タバコの吸殻やごみは各自持ち帰ること。
- 登山口や山小屋に備え付けてある登山者名簿には必ず記帳すること。

名称	料金	位置	番人	定員	申込先
大沢小屋	—	鶴子	無	50名	尾花沢市役所商工観光課
御所山荘	日帰り510円 宿泊1,030円	鶴子	有(要問合せ)	60名	花笠高原荘 ☎0237-28-2121
柳沢小屋	—	柳沢	無	50名	東根市役所商工観光課
升沢小屋	—	水場	無	20名	大和町役場産業振興課
鳴沢小屋	—	鳴沢	無	20名	加美町役場商工観光課



山頂避難小屋利用上の注意

山頂避難小屋の利用に当たっては次のことを守ってください。

- 計画的な登山で小屋を利用する登山者は、自分で使用する暖房や炊事用のコンロ・燃料、トイレトーパー等の装備は自分で携行すること。
- 小屋を使用したあとは、居室及びトイレの清掃を行い、登山者お互いが気持ちよく利用できるように心がけること。
- 小屋に備え付けてある燃料(薪)やトイレトーパー等は、遭難時等非常用にこの小屋の管理人が何回も往復して荷揚げしているものです。通常の登山での使用は禁止します。
- 強風時に小屋のドアや窓を開けるときは、かなりの風圧が加わりドアや窓が破損する場合がありますので十分に注意してください。
- 冬期間は積雪結氷により小屋へ入れないことが予想されます。登山計画に避難小屋利用を入れることは避けてください。

関連市町 お問合せ先

県立自然公園 船形連峰御所山連絡協議会 加入市町担当

山形県尾花沢市役所商工観光課	TEL 0237(22)1111
山形県東根市役所商工観光課	TEL 0237(42)1111
宮城県仙台市青葉区宮城総合支所まちづくり推進課	TEL 022(392)2111
宮城県仙台市泉区役所まちづくり推進課	TEL 022(372)3111
宮城県大和町役場産業振興課	TEL 022(345)1184
宮城県色麻町役場産業振興課	TEL 0229(65)2128
宮城県加美町役場商工観光課	TEL 0229(63)3111

■ホームページ

www.funagatarenpou.com



平成27年度作成

船形連峰案内

宮城、山形両県にまたがる船形連峰は、主峰船形山(一五〇〇m・別名御所山)を中心に

多くの峰々と広い山域を持ち、地形、植生等の変化に富んでいて、両県の県立自然公園に指定されている。

船形山の山名の由来は北東から見た山稜が船を伏した形に似ていることからと言われており、山形県では古くから御所山と呼ばれている。



県立自然公園 船形連峰御所山連絡協議会

尾花沢市からのコース

市営バスの終点、鶴子「花笠高原荘」から林道を8kmほど入った御所山荘がコースの出発地点となる。御所山荘はシーズン中の、休日等は管理人が常駐する。(要問合せ)

主な登山コースは、林道から尾根伝いに稜線に出るクラビコースと沢登りから稜線にでる層雲峡コース。

クラビコース

ブナ原生林の中を歩く静かな尾根コース。踏み跡もしっかりして安心して登れる。

層雲峡コース

御所山荘から一時間ほど林道を歩き、そこから先は渓谷に下りる。コースには目印や鎖が多く設置されているが流れを渡る箇所も多く、増水時や融雪期の利用は避けたほうが良い。二階建ての大沢小屋、落差30mの御宝前大滝を経て尾根を登り山頂に至る。

荒神コース

御所山荘の前を流れる火原沢を登り、荒神山、水神、石割桜を経てクラビコースに合流する。

※崩落箇所あり通行注意

道元峡

層雲峡コースの御所山荘より林道約1km地点より沢に下ると、柱状節理の材木岩や流れに浸食された岩、大小の滝があり散策コースとしてもよい。林道への連絡路が4ヶ所ある。



東根市からのコース

御所山の西方には、黒伏山の岩体を露出した柱状節理をなす東北随一の壮大な大断崖が見られる。また、柴倉山、最上カゴ、仙台カゴ、白森山などいずれも岩体を露出しており壮観な山相を探勝できる。これとは対象的に黒伏山の東南には、黒伏高原が展開し、その中に黒伏高原スノーパーク・ジャングル・ジャングルスキー場がある。

観音寺コース

黒伏高原スノーパーク・ジャングル・ジャングルスキー場より、船形山山頂までの新緑と紅葉の美しいコースを、通称：観音寺コースと呼んでいる。このコースは古くから多く使用され、70～80年前は馬も通れる小道だったらしい。車道は柳沢小屋先の登山道入口まで続いている。鞍部から頂上までの420mは急勾配でコース中最大の難所である。

黒伏山コース・南御所山縦走コース

眺望の良い峯渡りコースで、特に新緑と紅葉の季節はお勧め。



仙台市からのコース

青葉区にある定義如来近くからの後白髪コースと横川コース、広く市民に親しまれている泉ヶ岳のスキー場、泉岳自然ふれあい館前を通過して入る泉ヶ岳コースがある。

後白髪コース

定義から片道16kmの長いコース。水場は下空沢が最後となる。後白髪山から船形山山頂にかけての紅葉は全山深紅ですばらしい。

横川コース

登山口までは森林管理署専用林道を利用し、林道が後白髪山中腹まで達しており、山麓歩行を省くことが出来る。(落石等注意)

泉ヶ岳コース

泉ヶ岳・北泉ヶ岳・三峰山・蛇ヶ岳、そして船形山に至る縦走コースは片道約19km。北泉ヶ岳から水源(最後の水場)を経て三峰山中腹まではブナの原生林が続く。樹林帯を抜け三峰山の山頂が近づくと庭木で埋めつくしたような広大な自然庭園となり、通ってきた北泉ヶ岳、泉ヶ岳、行く手の蛇ヶ岳、船形山や後白髪山をはじめ船形連峰の峰々が全容を現す。



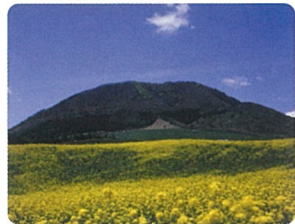
加美町からのコース

加美町からの主な登山道は夕日沢コースである。他に滝庭コース、畳石コース、長沼コースがあるが道路が荒れていて歩行も困難である。

また加美富士と呼ばれる薬菜山も船形連峰の一員である。

夕日沢コース

鹿原青野からの車道または、鹿原滝庭からの車道を利用し、小野田から登山口まで約一時間。なだらかな登山道を一時間ほど登ると、神秘的なたたずまいの鏡ヶ池に到着。その先は色麻コースと合流し急坂となるが一時間ほどで山頂に達する。



色麻町からのコース

色麻町からの登山コースは、色麻町役場から車で一時間ほどの大滝野営場が登山口の小栗山コース。

野営場手前の大滝は落差41mの大瀑布で水量の多い春先の眺めは一段と雄大である。



小栗山コース

大滝野営場(野営場の「人命水」は最後の水場)から3分程で升沢コースの三光の宮と船形山の分岐点につく。船形山に向かってすぐに湯谷地である。夫婦岩を過ぎると加美コースとの三叉路、ここからは急坂となり一時間ほどで山頂に達する。

大和町からのコース

大和町からの登山コースは、升沢コースとその途中の瓶石沢から蛇ヶ岳に通じる草原コースがある。吉岡から旗坂キャンプ場(広い駐車場あり)までは車を利用して約40分。

升沢コース

旗坂キャンプ場から頂上まで約7.6km、林道を左に廻るように登るとすぐ右に登山道入口がある。入口から旗坂平まではかなりの登りになる。コースを進むと左に三光の宮への道がある。

このさき升沢小屋を経てコース最後の難所御沢掛けを過ぎると千畳敷を経て山頂に至る。升沢コースを戻る場合、蛇ヶ岳へ出て草原コース(途中食虫植物の自生する湿地帯もある)を通ることもできる。

三光の宮には日・月・星・三光の石碑があり、360度の展望もすばらしい。



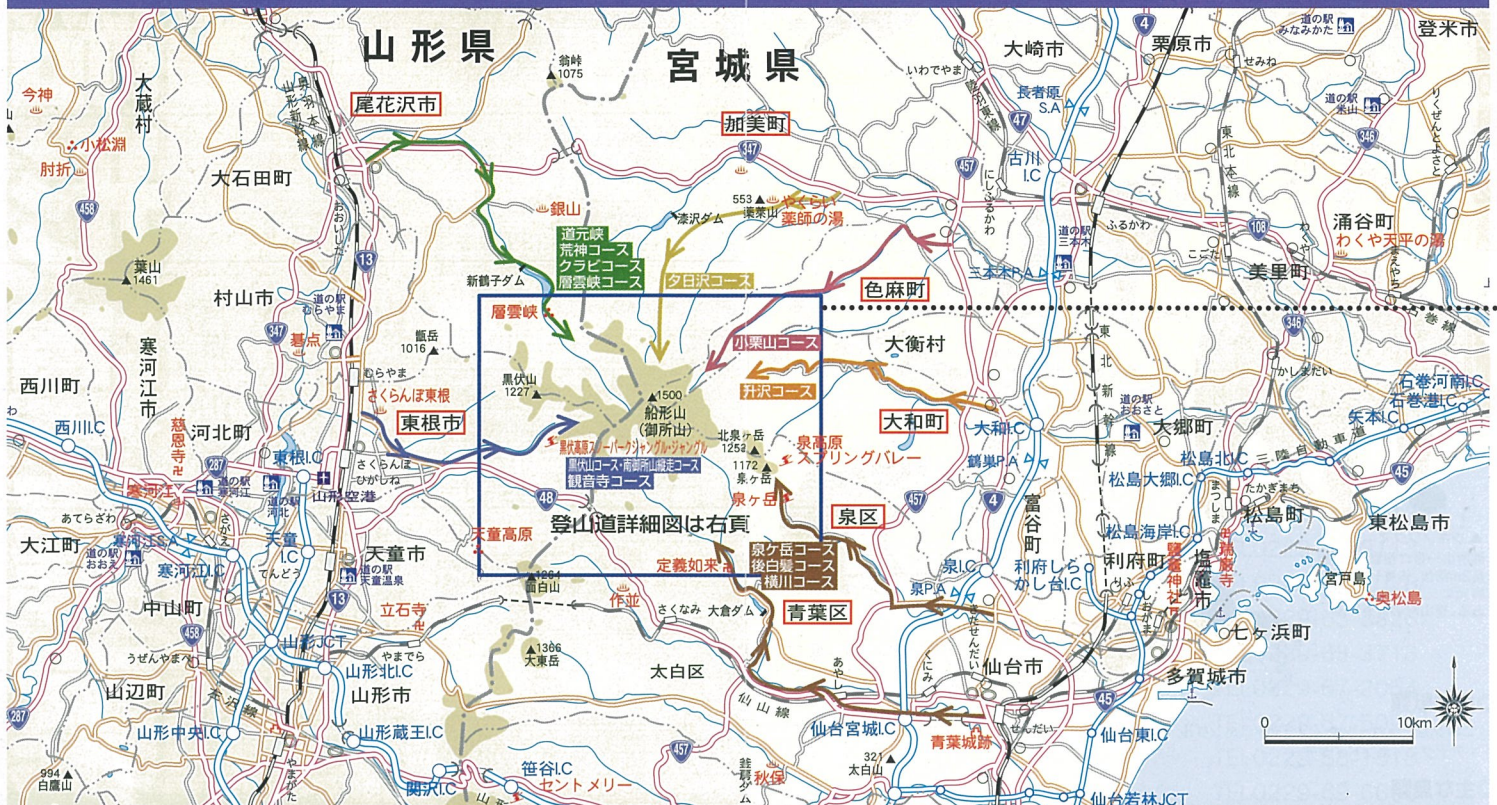




登山コース図(2/2)



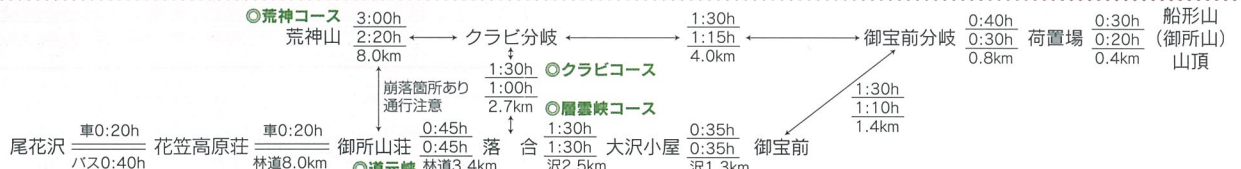
船形連峰 御所山 アクセスマップ



船形山(御所山)の主な登山コース

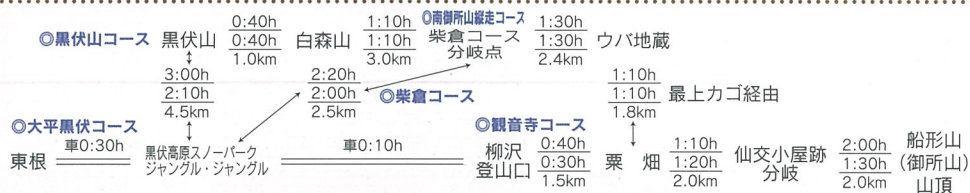
尾花沢市からのコース

(尾花沢市) 歩行所要時間 ○クラビコース: 登り約5時間00分 下り約4時間 ○層雲峡コース: 登り約6時間30分 下り約5時間30分



東根市からのコース

(東根市) 歩行所要時間 ○観音寺コース: 登り約3時間50分 下り約3時間20分



仙台市泉区からのコース

(仙台市泉区) 歩行所要時間 登り約6時間45分 下り約5時間50分



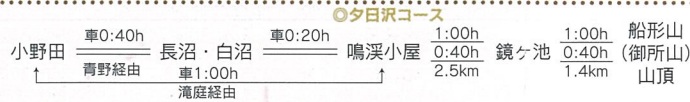
仙台市青葉区からのコース

(仙台市青葉区) 歩行所要時間 登り約6時間25分 下り約4時間55分



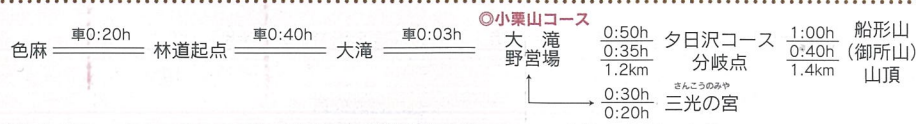
加美町からのコース

(加美町) 歩行所要時間 登り約2時間 下り約1時間20分



色麻町からのコース

(色麻町) 歩行所要時間 登り約1時間50分 下り約1時間15分



大和町からのコース

(大和町) 歩行所要時間 登り約4時間10分 下り約2時間40分

